通り別で最も通行量が多かった「JR宇都宮駅東西自由通路」

特集1
商店街通行量・
来街者実態調査

Results of an investigation

休日の通行量は2期連続で増加

JR宇都宮駅周辺（東・西）の活性化進む

当所と宇都宮市が定期的に実施している、中心商店街を対象とした「商店街通行量・来街者実態調査」を、今年7月に実施しました。その結果概要をご報告するとともに、調査結果から読み取れる現状分析を掲載します。

「商店街通行量・来街者実態調査」は、大通りやオリオン通り、ユニオン通り、JR宇都宮駅周辺など、中心商店街をほぼ網羅する範囲で行っている調査です。平成25年度は、次のような要領で実施しました。

では、今回の調査について、報告書から抜粋（一部、誌面に合わせて修正）しながらご紹介します。

オリオンスクエア（ミヤ・ジャズイン2013）

「通行量実態調査」実施要領

【調査日】7月21日（日）・22日（月）
午前10時～午後7時
【調査地点】市内中心部28地点 図9
【調査日の天候】
7月21日（日）曇り時々晴
7月22日（月）曇り

「通行量実態調査」結果

1 過去との比較 図1

- 休日通行量は、前回平成23年度に上昇した数値を、今回はさらに連続で上昇している。
- 平日通行量は、平成23年度に上昇したが、今回は減少している。

2 調査地点別通行量 図2

- 休日通行量は、28地点中25地点が平成23年度比を上回った。
- 平日通行量は、前回28地点中20地点が前回年度比を上回ったが、今回は10地点。
- 休日・平日とも、JR宇都宮駅東西自由通路が今年度も1位になった。
- 通り別の平均通行量は、JR宇都宮駅東西自由通路が前回に引き続き1位で、上位ランキングの通りは例年とほぼ変わらない通りが占めている。JR宇都宮駅東口大通りの通行量の増加が休日、平日とも目立っている。

〈休日ベスト5〉❶JR宇都宮駅東西自由通路 ❷オリオンスクエア前 ❸長瀬文具店前 ❹オリオンACぷらざ前（江野町中央）❺長谷川時計店前

〈平日ベスト5〉❶JR宇都宮駅東西自由通路 ❷オリオンスクエア前 ❸オリオンACぷらざ前（江野町中央）❹長谷川時計店前 ❺長瀬文具店前

3 時間帯別通行量調査 図3

- 中心市街地全体の休日の通行量は、午前10時の約9,000人から増加し、午後3時～4時をピークに減少に転じる。
- 平日は、昼食時間帯の正午～1時に約13,400人程度まで通行量が増加した後、午後1時～2時には約9,700人まで減少する。その後、帰宅時間帯の午後5時～6時にかけて再び増加する。

4 タイプ別通行量調査

- 休日では20代、30代が36%で、平成23年度との比較では若者の割合が若干減少している。

「来街者実態調査」実施要領

【調査日】7月21日（日）・7月22日（月）
午前10時～午後7時
【調査地点】図9
①JR宇都宮駅西口ペデストリアンデッキ
②FES前（ユニオン通り）
③パルコ宇都宮店前
④長瀬文具店前（オリオン通り）
⑤中村第一ビル前（大通り）
⑥オリオンスクエア前（オリオン通り）
⑦旧サイトウシャツ店前（東武馬車道通り）
【調査方法】聞き取り

【調査対象者数】1,396人（男性513人、女性883人）

「来街者実態調査」結果

1 居住地

- 市内、市外、県外からの来街者の割合は、63%：26%：11%となる。
- 県内来街の上位3位は、鹿沼市13%、下都賀郡12%、日光市10%であった。
- 来街の多い上位3都県は、東京都26%、茨城県26%、埼玉県19%であった。

2 来街目的 図4

- 来街者の42%は買物を目的に来街している。
- 食事や娯楽目的の来街はそれぞれ1割程度で、休日の方がその比率が高い。食事をする県外来街者の約83%は、餃子目的である。

東武馬車道通り

3 利用交通機関

- 来街者が利用する交通機関の46%が「公共交通機関」である。
- 休日は「自家用車」を利用して来街する人が32%と最も高い。
- 平日は「バス」を利用して来街する人が22%と最も高い。

4 来街回数

- 男女ともに来街回数は「ほぼ毎日」が最

図1 通行量の推移

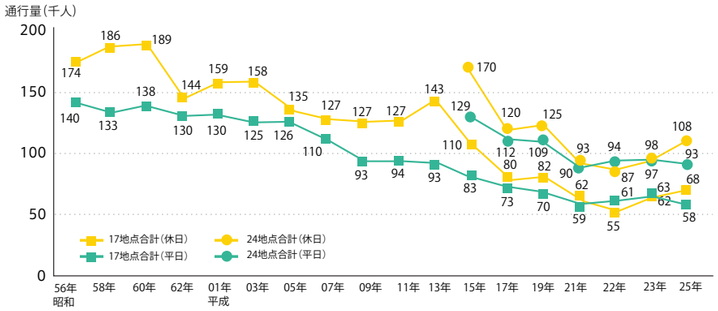


図2 調査地点別通行量

図3 時間帯別通行量（全調査地点合計）

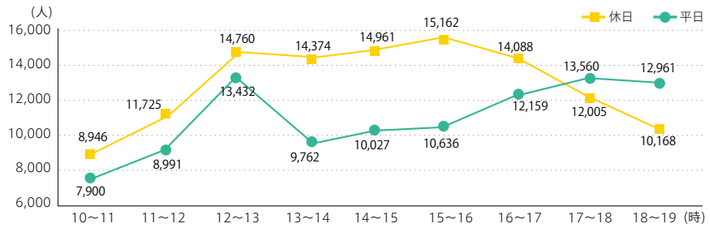


図4 「来街目的は何か」

実施日	買物		食事		レジャー娯楽	待合せ	通勤通学	商用仕事	まちなか散策	美容エステ	なんとなく	その他	合計
	日用品	ブランド品	餃子	その他									
休日	38%	6%	8%	11%	7%	5%	4%	4%	8%	2%	4%	21%	119%
平日	38%	3%	3%	11%	5%	5%	20%	11%	7%	3%	3%	12%	121%
合計	38%	4%	6%	11%	6%	5%	12%	7%	8%	2%	4%	17%	120%

※サンプル数（休日：729人、平日：667人）。なお、一人あたりの回答が複数回答のため、比率合計は100%にはならない。

オリオン通り（長瀬文具店前）

も多く、男性で23%、女性で29%であった。次いで多かったのが、男性では「月1回」の19%、女性では「週2・3回」の17%であった。

❺ 駐車場利用状況

- 平日・休日共にコイン式（無人）に止める人が全体の3割程度と最も多く、前回調査よりも増加している。

❻ 利用店舗 図5

- 利用店舗で最も多いのは男性「オリオン通り店舗」27%、女性「東武宇都宮百貨店」33%。

❼ 支出額 図6

- 来街者の8割程度が何らかの支出をしており、男女合計の休日の平均支出額は5,000円、平日は3,700円。

❽ 買物理由の比較 図7

- 中心部を多く利用する人の理由上位3つは「公共交通の便が良い」「品揃えが豊富」「家が近い」。
- 郊外を多く利用する人の理由上位3つは「駐車場が便利」「買物が一カ所で済む」「家が近い」。また「駐車場が便利」という回答が圧倒的に多い。

❾ 中心部商店・商店街に対する要望 図8

- 全年代層で「品揃えを豊富にしてほしい」と「値段を手ごろにしてほしい」が同率で21%だった。

❿ 中心部にあったらよいと思う店舗

- ファストフード、ファミリーレストラン等の飲食店を望む声が15%と最も多く、次いで食料品を扱う店舗が12%、カフェ・喫茶店が11%であった。

問合せ／地域振興部 ☎637-3131

図5 「男性と女性で消費行動に差があるか」（利用店舗）

性別	東武宇都宮百貨店	パルコ宇都宮店	MEGAドン・キホーテ	ララスクエア	フェスタ	駅ビルパセオ	表参道スクエア	オリオン通り店舗	ユニオン通り店舗	パンパ日野町店舗	東武馬車道通り	JR駅西口の店	JR駅東口の店	その他
男性	20%	9%	14%	5%	2%	5%	1%	27%	7%	3%	0%	12%	5%	7%
女性	33%	26%	16%	9%	7%	9%	1%	26%	3%	3%	1%	6%	1%	6%
合計	28%	20%	15%	8%	5%	7%	1%	26%	5%	3%	1%	8%	2%	6%

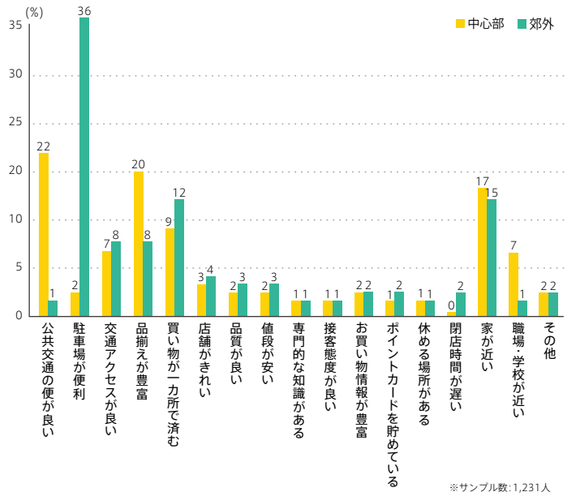
※サンプル数（男性：513人、女性：883人）。なお、一人あたりの回答が複数回答のため、比率合計は100%にはならない。

図6 支出額

	来街者数	支出者数	支出者比率	買物合計金額	平均支出額
休日	729人	615人	84%	3,099,090円	5,000円
平日	667人	554人	83%	2,052,530円	3,700円
合計	1,396人	1,169人	84%	5,151,620円	4,400円

※来街者数は調査項目で支出をする、しないと回答した人のみを集計　※10円単位は四捨五入して100円単位に統一

図7 「なぜそこで買物をするのか」（買物理由）



※サンプル数：1,231人

図8 「中心商店街に対する要望は何か」

商店要望	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
品揃えを豊富にしてほしい	22%	21%	20%	22%	22%	18%	21%
値段を手ごろにしてほしい	25%	16%	21%	15%	21%	25%	21%
対応をよくしてほしい	2%	3%	6%	3%	4%	6%	4%
店舗をきれいにしてほしい	7%	12%	6%	9%	5%	10%	8%
情報提供機能を充実させてほしい	7%	9%	11%	11%	11%	5%	9%
飲食店を増やしてほしい	13%	16%	10%	12%	8%	7%	11%
娯楽施設を増やしてほしい	12%	9%	4%	5%	2%	1%	6%
営業時間を延長してほしい	6%	8%	11%	9%	11%	5%	8%
その他	4%	8%	11%	15%	16%	24%	12%
合　計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※年代別の合計（複数回答あり）を100%として集計（サンプル数：1,581件）

Q&A 2核化がさらに進み、新しい街の形へ

中小企業診断士　須田秀規さんに聞く

Q1. 平成23年度の調査では、通行量が上向きになりました。今回はいかがでしょうか。

A 須田　休日の通行量は、引き続き増加しています。2期連続の増加は、過去10年で初めてです。平日は今回は若干減少していますが、憂慮するほどではないと思います。

Q2. 通行量実態調査の結果から、どんなことが読み取れますか。

A 須田　まず、休日の通行量については、全エリアで拡大しています。特にJR宇都宮駅東口大通りは全回比率165.9%の伸びです。JR宇都宮駅周辺は、どこも休日・平日ともに伸びていますね。前回の調査で、オリオン通りとJR宇都宮駅周辺との2核化が進んでいるのでは、と分析しましたが、それがさらに進行していると思います。

オリオン通り周辺の休日の増加は、マンションができて定住人口が増えたことや、オリオンスクエアやバンバ広場などでのイベント回数が増えたことも、影響していると考えられます。ただ、平日の通行量が低くなってしまっています。これは従来より指摘されている、空き店舗数の増加や閉店時間が早いことなどが関係しているのでしょう。特に、メインである「オリオン通り」は、環境の変化にまだ追随し切れていないところがあると思います。

今後は、公共交通機関の利便性の高いJR宇都宮駅周辺の商店街が、中心市街地の新たな集客を担っていくでしょう。

Q3. 来街者実態調査からはどんなことが読み取れますか。

A 須田　利用店舗は大型店が伸びている一方で、オリオン通りやユニオン通りの店舗が減少しているのが目立ちます。来街手段では自家用車が増加しつつありますが、これも大型店利用増加につながっているのではないでしょうか。同時に、コイン駐車場が増加していることなど、中心部の駐車場問題がある程度解消されてきている現れとも推測されます。

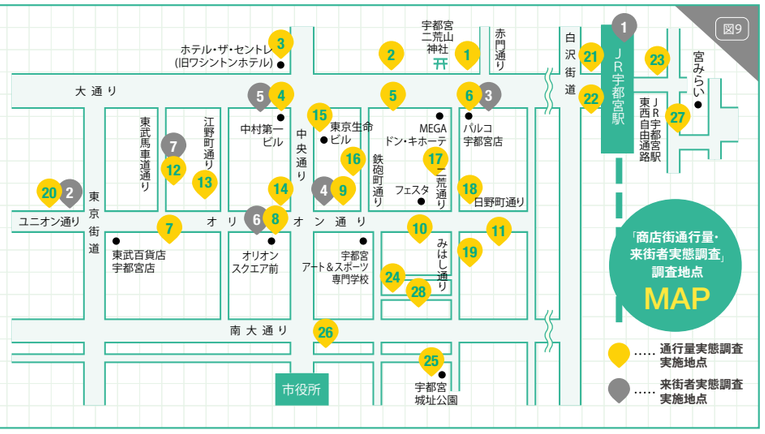
（一社）栃木県中小企業診断士会
副会長
中小企業診断士 須田 秀規さん
（須田経営相談所）

中心部の店を利用する理由として「家・学校が近い」とする回答が増えています。一方で「品揃えが豊富だから」は減少しています。それだけ身近な利用が増えていると思われます。

商店街への要望で目立つのはファストフード店やコンビニの進出です。手軽に利用できる飲食店が求められているようです。

Q4. 通行量・来街者実態調査全体から読み取れる、中心部の課題は何でしょうか?

A 須田　近年の宇都宮中心部のにぎわい回復活動は多岐にわたり、精力的な取り組みが功を奏しつつあるようです。それがJR宇都宮駅周辺などの通行量の増加に現れていると思われます。その一方で中心部の空き店舗解消や、創業者・事業者等誘致については、まだ成果が出ていません。中核部分の商店街の閉塞感を阻害する要因を確定し、解消するよう努めることが必要ではないでしょうか。

調査地点

地点番号	通行量実態調査地点 調査地点名	場所
1	表参道スクエア前	大通り北：馬場通り4丁目
2	クオリィア前	大通り北：馬場通り1丁目
3	とらやビル前	大通り北：本町
4	中村第一ビル前	大通り南：池上町東
5	ファーストトリップ前	大通り南：馬場通り2丁目東
6	パルコ宇都宮店前	大通り南：馬場通り3丁目
7	オリオンＡＣぷらざ前	オリオン通り：江野町西
8	オリオンスクエア前	オリオン通り：江野町中央
9	長瀬文具店前	オリオン通り：曲師町西
10	長谷川時計店前	オリオン通り：曲師町東
11	コアミ計測機前	日野町通り
12	旧サイトウシャツ店前	東武馬車道通り
13	秀月堂菓子店前	江野町通り
14	タテノ本店前	中央通り 西
15	池上季仙前	中央通り 東
16	旧ホテルニューアサヒ前	鉄砲町通り
17	町田靴店前	二荒通り 西
18	ビックエコー前	二荒通り 東
19	伊香保ビル前	みはし通り
20	FES前	ユニオン通り
21	秋元薬局前	JR駅前通り　北
22	スギムラ前	JR駅前通り　南
23	JR駅東西自由通路	JR駅庁舎2階東
24	ふれあい広場(北側)	釜川沿い　中央本町
25	宇都宮城址公園前	本丸通り：中央3丁目
26	宇都宮市役所前	シンボルロード南端：中央2丁目
27	駅東口大通り	東宿郷1丁目
28	ふれあい広場(南側)	釜川沿い 中央本町